



No.1 1 / 4 5

有脇小学校校長だより

2020・9・30

ため池を身近に感じる・・・地域を感じる

第14回「かいどい大作戦」



9月26日（土）に「第14回かいどい大作戦」が行われました。この行事は「有脇農地・水・緑を守る会」を中心に、有脇1区コミュニティ、愛知県知多農林水産事務所、半田市市民経済課等が協賛して行われています。そこへ有脇小学校が参加させていただいている行事です。コロナ禍で中止も検討されましたが、さまざまな対応を考えていただき、実施することができました。

コロナ対策では、学校で、子どもたちにはいつものように、検温等の確認を含めた健康観察を行い、出かける前に泥で汚れてもいいように、全員にマスクを配布しました。それをつけて池に向かい、かいどいを始める前までつけさせました。まだ暑さが心配でしたので、塩タブレットも配布し服用させました。

かいどい中はマスクをはずさせました。それは、池に入っている大人がフェイスシールド+マスクを着用してくださったからです。



一般の方（関係者以外の大人）には、検温をし、名簿に名前を記入してもらいマスクが配布されていました。また、子どもたちがいるエリア（初めは3～6年生が準備運動や開会行事を行い、途中から1・2年生の大応援団がやってきました）と一般の方のエリアが分けられていて、接触できないように工夫されていました。

かいどりの目的は、「ため池（南廻間池）の生物を生け捕り、生態系の確認をし、外来種を駆除すること」「ため池の清掃、景観整備」「ため池の役割と水の大切さを知ること」等があげられます。子どもたちは2年生から少しずつ地域のことを学びはじめます。

4年生で愛知用水の勉強をし、そこで「ため池」の勉強をします。5年生で稲作体験をします。こうして地域を知り、地域がため池と密接に関係していることを学びます。その密接な関係を体験させてくれる活動が「かいどり大作戦」なのです。

6年生は最後の「かいどり大作戦」になりました。だれがだれだかわからないほど全身泥だらけになっていました。決して忘れ



前日には大きなアオサギ発見

られない

思い出になったと思います。子どもたちは、水の大切さ、環境や地域についてはもちろん、さらには人と人とのつながりや人への思いなど、本当にたくさんを学ぶことができました。「かいどり大作戦」を企画、運営して下さった地域のみなさま、本当にありがとうございました。



1・2年生は獲れた魚の観察です



全身どろパック？いいぞっ6年生！



6年生が“玉入れ”？

部分を、今回は6年生の子どもたちが行います。「自分たちの運動会は自分たちでつくる。」コロナに負けない力強さを感じます。みんな、頼んだよ！

次はいよいよ運動会だな

運動場から元気のいい声が聞こえてきました。あれ？6年生が玉入れをやっています。10日に行われる「ありっ子スポーツフェスティバル」で1・2年生種目のサポートをする練習をしていたのです。区民運動会がコロナ禍の影響で中止になりました。その代わりに学校では参観者を限定（保護者2名まで）して、子どもたちだけのスポーツフェスティバルを行います。いつもは地域の方々にサポートしていただいていた